

林檎の森

りんごのもり

7
2021
vol.468



特集

10年先も持続可能な社会を
～JAと地域力で未来を変える～

10年先も持続可能な社会を ～JAと地域力で未来を変える～

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ESDシリーズ SDGsって何？

最近新聞やテレビなどで「SDGs」の言葉をよく耳にしないうるか。

SDGsとは全世界から貧困をなくし、持続可能な環境・社会・経済を持続可能な環境・社会・経済へ変革する事である。変革という言い方をしているのは、今までの仕組みを組みかえて全く新しいものにするという意味を持たせるためであり、国連がこれを策定した。

SDGsは環境と社会、経済を改善する為に17の目標を掲げ、その中には169の具体的な内容があり、その目標が達成できたか確認する為に232の指標がある。17の目標は一つ一つが独立したものでなく、一体となっている目標である。

環境・社会・経済の問題とは

現在、私たちは集中豪雨や地震などの自然災害、戦争やテロ、貧困、新型コロナウイルスや鳥インフルエンザなどといった感染症等、数多くの危機に直面している。

地球温暖化を例に挙げると、少なくとも2030年までに気温上昇を1.5度以内に抑えることが出来なければ、温暖化を加速させる現象が次々と連鎖し、2100年には灼熱地球へと動き始める可能性がある」と最新の研究で明らかになっている。

社会に目を向けると、女性の社会進出、医療体制の整備、子どもたちの教育、健康等の生活基盤に必要な問題がある。中でも、現在も進行している新型コロナウイルスによる医療体制の圧迫や感染者への差別や偏見、衛生面から使い捨て可能なプラスチックごみの増加等の問題を日本は抱えている。コロナ禍一つにしてもこれほどまでも問題が生まれている反面これらの問題を解決しようとする関心が高まる人も増えているようだ。



様々な職種で雇用創出



2100年の予想した日本の天気予報

経済面では働きがいのある社会実現や災害に対する環境整備、SNSなどによる差別的な言動、食品ロスの増加などといった問題がある。

中でも食品ロス問題は私たちの生活そのものを見直す動きが求められている。日本において食べられるのに捨てられる量は、年間612万トン（2017年推計値）となっており、毎日大型トラック（10トン車）約1676台分の食品を廃棄している。この問題の改善策として規格外品の再利用や生鮮食品の冷凍保存などといった取組がすでに行われており、さらに取組む人口の増加が必要とされている。これらの環境・社会・経済の3つの主要素で大きな問題が生じている。

環境・社会・経済の3つはバランスが重要であり、経済界のトップらは基盤となる環境の改善に取組み始めている。

また、全国各地のJAでも既に取組んでいるところが多い。そこで今回は当JAのどんな取組みがSDGsに繋がっているのか3つの柱に沿って紹介していきたい。

1. 土台となる「環境」

社会も経済も、人類をふくむ生物が生きていける環境があって成り立っている。また、陸の豊かさは海の豊かさにつながり、陸の保全是水資源の保全にもなる。

そこでJAでの水資源の保全につながる取組として廃プラスチック回収がある。不当に廃棄されたプラスチックは、紫外線や外的要因により5ミリ程度のマイクロプラスチックとなり海洋を汚染させる。廃プラ回収はこの問題を防ぐことに繋がり、焼却処分による温室効果ガス発生抑制、リサイクル意識の強化へ取組む事が出来る。

また、水の豊かさを保つ事や連作障害防止の為に土壌診断も当JAで行っている。現在では化学肥料の普及が広がっているが、雨などの影響で農地から流出し、生活排水や下水へと流れ、水質汚染に繋がる。

そこで、土壌診断により適正な成分の施肥を行う事で、水に溶けだした過剰な化学肥料が水質を汚染することを防げる。

また、適正な土壌での作物栽培

は問題なく連作することができ、持続可能な農業へと繋がる。

このように、自然や生態系を守ることににより農作物や水、自然等が豊かなものとなり、農作物も豊富になり社会から飢餓や貧困が減少し、働く人が増えるなどといった恩恵を受ける事が出来る。



適正な土壌診断で豊富な作物を（目標6・14・15に該当）



廃プラ回収の為に分別に取組む生産者（目標6・14に該当）

2・世界から飢えや貧困をなくし健康で安全に住み続けられる「社会」を築こう

当JAでは、近年の気温上昇に伴い農作物への障害がみられ、生産者は頭を抱えている。

そこで当JAでは気候変動に応じた品種への転換や選果基準の見直しを今年から行っている。果実への障害を栽培管理の新たな設定により防ぎ、農業者の所得向上または農業生産の拡大へ繋がることにつなげていく。また、生産者の経営内容に応じた栽培方法の提案なども進めていく。

また、地域産業の理解と教養を深める為、毎年行っている相馬小学校の児童へのリンゴ学習活動や保育所の野菜定植支援活動により、農作物を育てる事の大切さを知ってもらえればと考えている。

そして、農業者の急な病気やケガ、生活習慣病が原因で仕事や生活に支障が出た場合にサポートする為の保障サービスを提供している。毎日の農作業が忙しい生産者に安心して生活してもらう為、当JA担当者が畑などの現場へ足を運び、保障サービスの提案

を行っている。これらの継続した取り組みは地域の人達に根付き、持続可能な取組として確立してきていると言えるだろう。



適正な営農指導を現場で行う（目標1・2・3に該当）



毎年行われている食育活動（目標4・11・16に該当）

3・人や国の不平等を無くし、誰もが生きがい、働きがいを感じられる経済実現のために技術革新を進めよう

現在、農業人口の減少や後継者不足による廃業が問題となっている。その背景には農業者の高齢化や肉体労働のイメージが強い事、農業所得の不安定が懸念されている事等が要因となっている。

そこで当JAでは、労働力不足による農作業の省力化を目的に、ドローンや無人ヘリコプターを使った肥料農薬散布等が行われている。また水稲が中心であるが、これらの機械による作業が増えることにより作業の省力化や若い年代の働き手が増え、雇用の創出にも繋がる。

同時に、アップルヘルパー等の農作業の働き口を探している人と、人手不足で困っている人をマッチングさせる無料職業紹介事業も行っており、これまでも多くのマッチングにより生産者を支えている。今では更に農業者と求職者のマッチング率を向上させるため、派遣会社との連携等を見据えている。



スマート農業で若者の雇用創出と人手不足解消（目標8・9に該当）



SDGsとJA

SDGsと聞いて、世界的な取組であることから壮大なイメージがある。しかし、身近な生活には多くのSDGs関連があることを理解して頂けたらろう。

これまで紹介したように、JAではすでにSDGsに関する取組を行っている。

しかし、なぜこのようにSDGsに関連した取組みがJAで行われているのか。それはJAの基本理念である相互扶助という理念から来ている。どの取組みも一人は万人のために、万人は一人のために」という考えが根付いていることから多くの取組が生まれている。

また、これまでの紹介してきた食品や環境保全、労働環境等の取組は当JAの農産物信頼システムの「GAPのチェックリスト」に記されている。よって、このチェックリストを確認することはSDGsの取組をチェックする事と類似している。

GAPの農場管理や食品安全、

環境保全、労働環境整備等といった取組がSDGsの17の目標の大部分に当てはまる。よってGAPの内容に沿った営農の実践がSDGsの取組に繋がり、GAPの認証、取得へ近づぐことが出来る。

世界には、様々な環境問題からの影響により快適な生活を送ることが出来ない人が多くいる。その地球環境を改善することが出来るのはあなたです。まずは無理なく出来る事から取組んでみませんか。



意外と簡単！
生活の中で取り組めるSDGs

レベル1 ソファに居ても出来る取組

- ・オンライン決済で紙の無駄を省く
- ・SNSの地球に関する投稿は「いいね」ではなく「シェア」して呼びかけを行う。

レベル2 家でも出来る事

- ・肉や魚などの生ものは冷凍して廃棄する物を減らす。
- ・エアコンなどは窓などの隙間を減らしてエネルギーの効率を良くする。

レベル3 家の外で出来る事

- ・地元で採れたものを意識して買い物し、地産地消を応援する。
- ・詰め替えボトルや買い物バックを持ち歩いて無駄な資源を出さない。

レベル4 職場で出来る事

- ・園地にトイレを設置し、環境を整える。
- ・適正な農薬使用を守る。
- ・省力可能な品種や天候に合った品種更新を行う。

これはごく一部の取組である。自分の興味のあることから意識して取組んでみましょう。

「航空教室」開催

01

6月8日、日本航空株式会社、相馬小学校にて全校児童109名に航空教室を行った。

この航空教室は、昨年10月にりんご作業の援農へ訪れた事をきっかけに、お世話になった生産者や地域の方に何か恩返しが出来ればという事から行われた。

当初はパイロットと客室乗務員が実際に小学校を訪れて説明する予定だったが、新型コロナウイルス拡大防止の為、東京にあるJALの会議室と相馬小学校をリモートでつなぎ行われた。



画面越しに手を振る小山副操縦士と河原木直子チーフ

当日は小山浩司副操縦士が飛行機が飛ぶ仕組みや離着陸迄の仕事の流れを説明し、河原木直子先任客室乗務員が機内での仕事の内容を説明した。

児童らは真剣な眼差しで聞き入り、質問の時間には多くの質問が飛び交い、とても有意義な授業になっていた。

今回司会を務めたJALの葛西恵理ふるさとアンバサダー（青森県在住）は「どんな授業になるか不安であったが、食いつきが良くて安心した。今後もこのような機会があれば現場でやってみたい。」と話していた。



模型を使って説明するふるさとアンバサダーの葛西さん

JAL職員
摘果援農に訪れる

02

JAL職員6名が紙漕沢地区の成田祐介さんの園地にて摘果作業を行った。

当初は6月から援農に訪れる予定であったが、緊急事態宣言により中止となった。しかし、今しかできない摘果作業を覚えておきたいとのことから、緊急事態宣言解除後に訪れた。

始めに園主の成田さんから中心果を残す事や新梢には成らせない等といった作業方法が説明された。職員らは来年の摘果作業に向けて周りの職員にも見せようと、



次第に摘果作業のスピードが上がるJAL職員

ビデオカメラをまわしながら聞いていた。

職員の内2名は青森県出身の客室乗務員であり、園内に広がる津軽弁に懐かしみを感じながら作業していた。また、去年援農に訪れたパイロットの方もラジオから流れるCMの音楽や番組を久しぶりに聞き感動していた。

今回の摘果作業前には、相馬小学校6年生の児童3名が、「航空教室」の御礼を伝えるにJAL本所に訪れ、「とても貴重な勉強をすることが出来ました。コロナが収まったら飛行機に早く乗りたいです」とJAL職員に感謝を伝えていた。



JAL職員らに感謝を伝える6年生の児童



生産者らへ今年産りんご生産へ期待を語る

6月16日、第三回巡回講座が各地区にて行われた。今回は常勤3名も同行し、昨年のリンゴ販売動向や精算について説明した。大場勉組合長は「皆さんの早期出荷のおかげで選果もスムーズに行うことができ、販売も苦戦しながらですが上手く進めることが出来ました。今年産も出荷いただきますようよろしくお願ひします」とお願ひしていた。

topics

令和2年産
りんご販売振り返る

03



乗用機械により綺麗に溝が切り込まれていく

農業振興課では、管内の水田において排水不良による湿田化が見受けられることから溝切作業を開始した。
乗用溝切機で田面へ溝を入れて排水を促すことで、ムラなく地盤が固まり、刈取り作業や耕起の際の作業効率向上が見込まれる。
担当者は「水田の排水が効率よくなるよう考えながら作業し、水田の環境改善に努めたい」と意気込んでいた。

topics

湿田化改善へ

04



袋掛けの仕方を真剣に聞く児童ら

相馬小学校では6月11、29日に摘果作業と袋掛け作業を行った。この内、袋掛け作業では園主の山内大樹さんが実際に袋を掛けながら、風で飛ばないようにしっかりと針金で止めることや破けないように優しく作業するといった注意点を話した。
児童らは女性部や保護者の方々に教えてもらいながら真剣な目で取り組み、中には1人で上手に出来るようになった児童もいて、周りにいた人達を驚かせていた。

topics

摘果・袋掛け作業に
汗を流す

05



高さ2メートルを超える大型檻で大量捕獲を試みる

農業振興課では、管内のサルによる被害や樹の枝を折られる等の被害解消に向け、大型檻の設置を行った。組立や設置には相馬ハンタークラブと弘前市役所職員等関係者15名で行われ、現在檻に対しての警戒心を解くため餌付けをしている。
他管内でこの檻を設置したところ10匹以上の捕獲が確認されたことから、管内の大量捕獲にも期待したい。

topics

サルの
被害軽減に向けて

06

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用いただきありがとうございます。ます。

今年もサクランボがたくさん入荷する季節となりましたが、今年 は天候不順や霜害で不作のよう で例年に比べて入荷がとも少なく なっています。

しかし、品質、味、色づきは良 く、美味しいサクランボとなって います。

※数量が少ないため、午前中に売 り切れることもありまのでご 了承ください。

そのほかブング梅やあんず梅も 被害で不作となっている生産者が 多く、入荷数量がとも少なく なっています。

そのため予約等はお断りさせて いただく場合もありますのでご了承 承ください。

地場野菜のほうは葉物をはじめ、きゅうり、ナス、トマトの夏 野菜が多くなってきています。値 段もお手頃な、とれたて新鮮な地 場野菜をお買い求めてみてはいか がでしょうか？

山菜はタケノコ、ワラビの旬が 過ぎ、入荷がほぼなくなってきま した。ミズは最盛期をむかえてお り、毎朝新鮮なものがたくさん入 荷しております。

また、店内にはサザナミもたく さん置いてありますのでミズと一 緒にどうぞでしょうか？

これから夏野菜や嶽きみ、スイ カ、メロンも本格的に入り始めま すので是非足を運んでみてはいか がでしょうか？

スタッフ一同ご来店お待ちしております。



今が旬の甘いサクランボ



色どり豊富な夏野菜が多く入荷

「林檎の森」の出荷者紹介

林檎の森には約900人の 出荷者が登録されている。

その中でも岩木地区で家族 で民宿「すだらっと」を経営 している三上さん。相馬管内な どでピーマンや小葱、ニンジン 等様々な野菜を栽培している。

林檎の森に出荷している野菜 には「すだらっと」の宣伝シ ー ルも張られています。気になっ た方は是非「すだらっと」の美 味しい料理と源泉かけ流しの 温泉を堪能しに来てください。



採れたて新鮮野菜の包装には「すだらっ と」の宣伝シール

いきいき女性部通信

事務局 桑田歩



女性部では、6月11日、29日に相馬小学校リンゴ学習の摘果作業と袋掛け作業を手伝いました。猛暑の中でしたが全員楽しく学びながら作業していました。

その様子は当JAで利用しているSNSアプリの「TELEGRAM」にて写真や動画を配信しております。視聴も出来ますので是非登録お願い致します。お問い合わせは農業振興課まで。

さて、7月1日に青森市社会教育センターにて令和3年度青森県JA女性大会が開催され、組織活動体験発表コンクールでは、当女性部役員でもある佐久間結華里さんが「S(そつま)D(だいき)Gs(ガールズ)」女性がもたらす地域へのパワーを後世へというテーマで発表しました。内容は熱心な地元小学校の先生との出合いが生んだりんご体験学習の復活劇で、沢山の地域住民の協力のもとで活動を定着させた事を紹介しました。また、女性部活動の参

加方法についてリモートやSNSなどの新しいコミュニケーションツールの可能性を追究し、出来る事を無理せずやっていく。また、若い人にも気軽に女性部に入部してもらえそうな環境を作っていくという内容でした。

力強く発表した結果、最高賞となる優秀賞を受賞することが出来ました。この受賞により、本来ならば8月に東北大会が岩手県で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から残念で



地域のつながりを強くアピール

はありますが中止となり、書類審査のみとなりました。しかし東北大会でも良い結果を残せるのではないかと楽しみにしています。



見事優秀賞を受賞しました



発表中の佐久間さん

女性部員募集中!!

私たちと相馬地区を盛り上げてみませんか？
女性部では小学校のりんご学習活動や保育所の野菜畑作りのお手伝い等の地域貢献活動や、フラワーアレンジメントや料理教室など自分磨きの為の講座を開催しています。また、部員や地域、他組織との交流が沢山あります。是非JA相馬村女性部への入部お待ちしております。

お問い合わせ先：0172-84-3215

JA相馬村本所 農業振興課内 桑田まで



入部お待ちしております



○りんご作業 (7/15~8/15)

管内のりんごの肥大は、7月1日現在でふじが42.9ミリと昨年より2日ほど早い生育となっております。

仕上げ摘果を終えた園地では、再度見直し摘果を行い、良品生産に向けて適正着果に努めましょう。成らせすぎは翌年の花芽形成を悪くさせるばかりでなく、隔年結果の原因ともなります。

○徒長枝(バヤ)の整理や支柱入れを行いましょ

枝の重なりを解消すると農薬散布時に薬剤の通りが良くなるため、ワタムシやカイガラムシ、ハダニなどの害虫の発生を減らすことにもつながります。また、日光を樹冠内部にまで当て、葉の光合成活動を促すことにもなりますのでこまめに行って下さい。ただし、直射日光がきつく気温が高い時に行くと果面ヤケの原因になるので注意して下さい。

○落果防止剤の使い方

ストッポール液剤は葉から吸収されて効果を出す薬剤ですので、葉に十分薬剤がかかるようにして散布して下さい。葉摘みは散布後4~5日後から行いましょう。ただし、つがるに散布する場合、高温時(28℃以上)に散布すると新梢の先端部分に葉害が発生する場合がありますので注意して下さい。

○収穫前日数に注意しましょ

極早生種や早生種のりんごを栽

培している場合には、散布する薬剤の収穫前基準に注意が必要です。

例えば、9月1日につがるを収穫する場合、収穫前45日の薬剤は7月15日以降の散布ができなくなります。恋空や着色優良系統のつがる・きおつなど、8月中に収穫できる品種がある方は特に注意して下さい。

※「恋空」の葉摘みは要注意

極早生品種「恋空」は葉を摘み過ぎるとヤケの原因だけではなく、果実の軟質化や着色の悪化にもつながります。

葉摘みを行う場合は、必要以上に葉を摘まないように気をつけましょう。

○水稻

幼穂形成期を終え、穂ばらみ期に入ります。今後は平均気温で20℃以下となる場合には15センチ以上の深水で管理し、幼穂の保温に努めて下さい。高温時には4センチ程度の浅水とし、高温が続く場合には、時々水の入れ替えをし、根の老化防止に努めて下さい。また、畦畔の草刈りはカメムシ被害防止のため、7月中旬で終了して下さい。

管内のりんご肥大状況 (7月1日調査)

	湯口	紙漣沢	相馬	前年比	平年比
つがる	48.5	48.1	46.7	108.4%	110.9%
王林	47.9	42.5	44.1	111.7%	112.8%
ふじ	42.9	42.1	43.3	104.1%	110.3%

※単位は (mm) 平年値は過去10年間の平均値

散布計画

回数	散布量	散布時期	基準薬剤	希釈倍数	備考
9	500㍓	7月下旬	ダイパワー オリオン(水) カルシウム剤	1000倍 1000倍	○カイガラムシの発生が多い園地では胴木洗いを実施する。(アプロードの年間使用回数は2回まで) ○ハダニの発生に注意。
10	500㍓	8月中旬	アリエッティC(水) バリアード(顆水) カルシウム剤	800倍 4000倍	○炭そ病の発生が多い園地ではベフラン液の使用を避ける。 ○極早生・早生種がある場合には収穫前日数に注意する。

りんご病害虫防除暦(第9回目~10回目) ※生態の早まりにより散布時期に若干のズレがあります。

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



6月の果実動向は、メロン・スイカ・輸入果実中心での売場展開のなか、サクランボについては、凍霜害による減収から市場出荷が不透明な上、単価高や品質低下の発生により積極的な売場拡大は図られず、引き合いは限定的となっています。

スイカについては、連日の梅雨空により、消費の停滞が懸念されましたが、入荷量が少ないことや、カット売りを中心に一定の荷動きがあることから、概ね保合いでの推移となりました。メロンについても、総体量は少なく、大玉を中心に堅調な贈答需要のなか、アールスメロン系や赤肉系は特に入荷が少なく、安定した販売となっています。桃については、山梨県産白

鳳が前進出荷でやや小玉傾向のなか、売価が高いことから荷動きは鈍い状況となっています。山梨県産は潤沢な出回りとなっておりませんが、後続産地は凍霜害などの影響で減産傾向となる見通しで、昨年に続く品薄高の展開が予想されます。

りんごについては、有袋ふじの内部障害が散見されたことから一斉に出荷され、潤沢な入荷となり小玉を中心に企画販売の価格は保合いで推移しましたが、大玉については弱含みでの展開となりました。品質懸念から、有袋ふじについては6月下旬に終盤を迎え、未端では有袋ジョナゴールドへの切り替えが進んでいます。王林やシナノゴールドについては、売場が



販売課ではコンテナ洗いが行われている

狭く荷動きの鈍さから厳しい販売が続いています。今後、夏果実の台頭もあり売場が限定されることから、気温の更なる上昇とともにジョナゴールドの上位等級品を中心に一定の引き合いは見込まれますが、品質面での懸念から、シナノゴールドを含め、総体的に大玉は厳しい販売が予想されます。

全農あおもりデータ（6/30累計）、在庫数量は県りんご果樹課作成（5月末）

品 種	サンふじ	ふ じ	王 林	ジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,459	3,549	2,675	2,890	2,693	2,605
前 年 比 (%)	77	78	89	75	91	82
在 庫 数 量 (ト)	5,315	19,033	3,190	8,541	4,535	40,614
前 年 比 (%)	22,146	177	204	223	401	235

青年部通信

事務局 小野 朋宣



青年部では、6月25日に育苗作業慰労会を開催し、22人が参加した。

今回は「星と森のロマンチック」のバターゴルフ場でバターゴルフコンペを行った。青年部でバターゴルフを行ったのは初めてであり、部員らと一緒にレクリエーションを行う事が近年なかったことから親睦を深めようとした。豪華景品を目指し、9ホールを2周した打数を競った。

コースを周り始めると、早々にコースから大きく外れる等のアクシデントもあったが、次第に慣れてくる様子が見られた。その中でホールインワンを決める部員もいて、そこからはさらに盛り上がりがあった。



打球を追う部員らの表情は接戦を物語る

そんな中でも、空き時間には部員らは「摘果は終わったか」「袋かけやってるか」などといった農業の進捗状況や「アブラムシ多いよな」等の情報交換は欠かさずに行っていた。

そしてコンペが終了し、スコアを集計したところ、湯口地区の溝江友貴さんが優勝し、2位とは10打



優勝商品のラジオを手に記念撮影

差つける程圧倒的な勝利であった。コロナ禍だが、今回こうして屋外での活動で密集を避ける等の工夫をする事で、集まることができた。今後も事業や研修を通じて団結力の強化に努めていきたい。

優勝した溝江さんを含め3名が7月9日に行われた第56回通常総会をもって勇退した。

振り返ると、勇退した部員らはとても頼りになる存在で、新しく入った部員らには背中中で熱く語るような活躍を見せていた。

これからも農業の先輩として後輩部員らを牽引して頂きたい。

来月は総会で改選した役員を紹介したいと思います。

未来を担う若手農業者へ JA相馬村 部員募集中!!



40歳までの方なら誰でも歓迎

ライスロマンクラブの応援作業等の地域貢献活動や栽培技術研修会、他地域との交流会、健康診断による自己の心身を見つめ直す等の活動を行っています。

心強い仲間がここにいる

問い合わせは **84-3215**
JA相馬村本所 小野 迄

地域おこし協力隊 活動記 Vol.74



成岩商店



笹商店



成田商店



お食事処みかみ



ロマントピア



佐藤商店



万作庵



林檎の森



御所温泉

みなさんこんにちは！ 協力隊の石田です。昨年
の春から始めました「相馬の魅力ご当地缶バッヂ」
企画が、今年の10月末で終了致します。
今回はその告知と「幻の5月号」をご紹介します
下さい。

昨年このような写真を撮り進めていました。缶
バッヂを置いて下さっている9か所の商店・施設の
皆さんが、各店のバッヂ2種とともに写っています
しゃいます。皆さんとってもいい表情！

しかしコロナ禍で人を集めることが憚られ「幻の
5月号」となっていました…なので、この機会に蔵
出し致します☆

缶バッヂを付けている方を見るたび嬉しくなりま
したし、何より、協力店の方々に喜んでいただけ
ることが一番嬉しいことでした。配布も大変だったと
思いますが、みなさん面白がって下さって本当にあ
りがとございました！

さて、まだ10月末まで、全18種類揃えた方には口
マントピア温泉回数券をプレゼント中です。

ぜひお買物がてら、相馬めぐりをしてみて下さ
いね。



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長
秋田 義信



農協の役員室。オンベと油売りが居て、油売りが昔の津軽の大地主のことをオンベに訊き取っていた。オンベ「オメエから訊かれていたので、マジの図書館へ行って調べてきたよ」

と言つて、山本省一著「青森県農地改革史」（大正十三年現在）によつて地主の所有田を読み上げた。

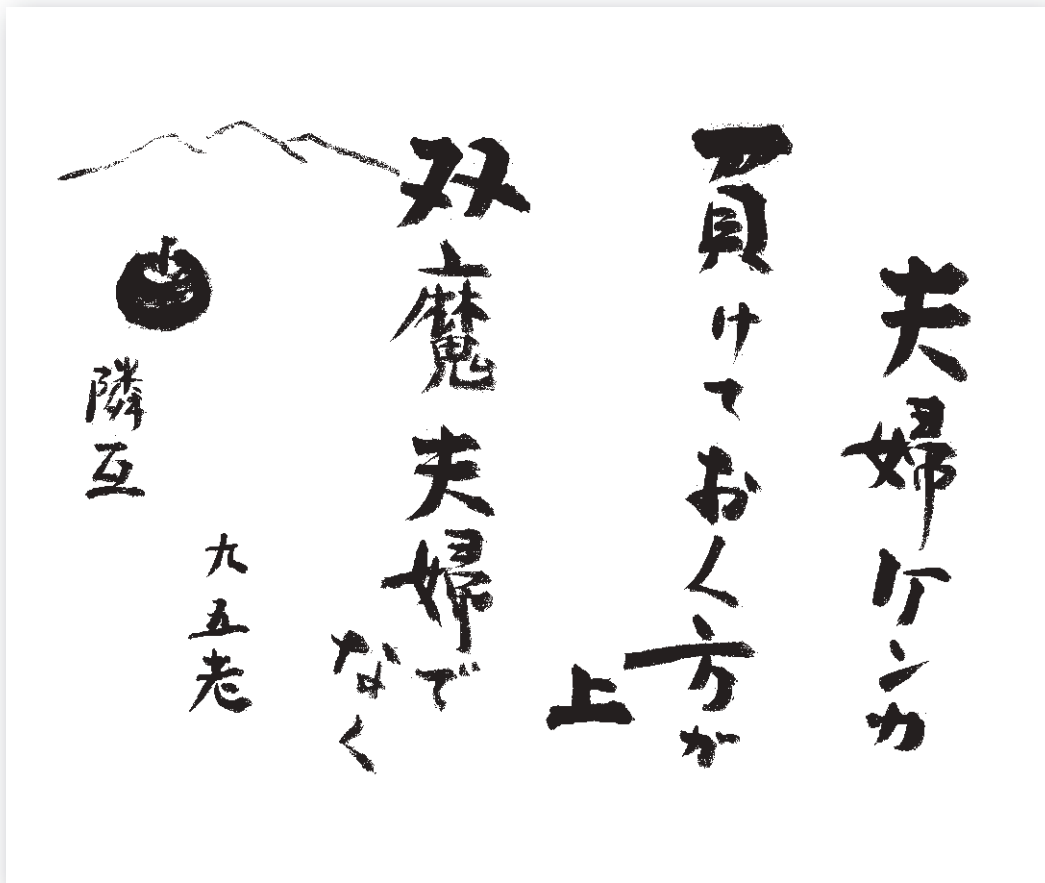
市町村	氏名	所有田 (町歩)	小作人数 (人)
高杉	高杉金作	六五	一〇五
千松	高木純一郎	五八	一一〇
船高	高谷貞助	七二	一四〇
和徳	笹森栄	八〇	一五〇
田舎	佐藤源蔵	一一二	二五〇
田舎	館田信	八三	一五〇
五郷	長谷川信太郎	七三	一六二
五郷	長谷川宗一	六三	一五三
黒石	加藤宇兵衛	一四二	二五〇
黒石	鳴海文四郎	八五	一四五
浅瀬	石鳴海文四郎	九〇	一五六
中郷	対馬誼太郎	一三〇	二二〇
六郷	宇野清左衛門	一五七	二七五
竹館	相馬貞一	五〇	七五
尾上	西谷壽徳	六二	一五八
七和	阿部誠一郎	一〇四	一九八
七和	楠見芳幹	五二	五一

中里	古川市三郎	一八六	一四一
中里	井沼覚五郎	七二	九二
中里	大川丑之助	七七	一〇四
沿川	齊藤純吉	一一二	一四七
金木	津島文治	二一九	二九〇
五所川原	高橋弥左衛門	八〇	二二四
五所川原	佐々木嘉太郎	六〇九	八九四
五所川原	平山又三郎	三六五	四六八
五所川原	沢田長助	五六	八二
板柳	安田元吉	三三	五〇
板柳	安田繁造	九二	一五〇
板柳	安田〇造	九二	一一三
板柳	安田才助	二〇一	二八〇
板柳	安田久五郎	五〇	七九
板柳	青山浅次郎	五五	九八
内淵	佐々木健次郎	四一	六〇
中村	宮越正治	一〇五	二二八
中村	戸虎三郎	九五	二二〇
中村	戸才門日郎	五〇	九八
森田	原田藤次郎	一一三	三〇〇
森田	原田豊次	二〇二	一五〇
森田	佐藤四郎	五八	五〇
森田	小林ひろえ	五〇	六〇
柴田	石田ミチエ	六五	六〇
水元	洪谷文男	一四二	一六〇
館岡	長谷川一文	一九九	二〇三
車力	鳴海周次郎	一七八	二〇〇
木造	高谷豊之助	二三八	一八〇
木造	高谷忠八	六〇	五〇
三小	小倉常吉	八四	六五

注1 金木町の津島文治は戦後の初代知事。斜陽館はその家。弟が太幸治。太幸が東京で青森から追いかけて行った小山初代と同棲していたとき、毎月120円送金。当時、小学校長の月給が65円。

注2 小作人とは、地主から農地を借りて耕作している農家のこと。これが戦後、マッカーサー司令部の命令により、全部、耕作者のものになった。いわゆる「農地改革」によつて。

注3 小作人が小作料を地主へ収量の約四割（南部地方は五割）を納める。本県最大の地主は五所川原の佐々木家（屋号 布家）、東北一の地主が酒田市の本間家（約六百町歩だったとか）。



編集部をつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。

今月の特集SDGsですが私自身SDGsの研修を受けて地球温暖化による様々な影響がすぐそこまで来ていることに驚き、SDGsの取組がとても重要な事だと感じました。

皆さんの取組が些細な事でもみんなできり組めば大きな取組となります。私も意識して取り組んで少しでも地球の危機を救う手立てになればと思います。

新型コロナウイルスは一向に終息が見えませんが今一度気を引き締めて予防に努めていきましょう。
By tomoshi

理事会だより

6月18日(金)

- 1) 5月末残高試算表について
- 2) 5月末仮決算について
- 3) 組合員の脱退について
- 4) 「コンプライアンス・マニュアル」の一部変更について
- 5) 定款の一部変更について
- 6) 令和3年度コンプライアンス・プログラム及び不祥事未然防止のための行動計画について
- 7) 令和3年度個人情報保護計画について
- 8) 「内部統制整備運用実施計画」の設定について
- 9) 「不断の自己改革」の取組みについて
- 10) 令和3年度内部監査計画について
- 11) JAバンク優遇プログラム規定の制定について
- 12) 提携ATM手数料(コンビニ・ゆうちょ)の見直しについて
- 13) 未利用口座管理手数料の導入について
- 14) 貸付関係について
- 15) りんご販売関係について
- 16) 固定資産の取得について

- 2 鉦石を高温でドロドロにする装置。高炉とも呼ばれます
- 5 川や池の土手のこと
- 7 信号機で「止まれ」を示す色
- 8 家を壊して新しく造り直すこと
- 10 墨も料理に利用する魚介
- 12 大きな魚はこの形でパック詰めされていることが多い
- 14 令和3年の——の日は8月8日。国民の祝日です
- 16 ねぶた祭で知られる県
- 18 「五七五七七」などの形式で作られます
- 20 飛行機で人や荷物を運ぶこと
- 21 井戸端会議中に楽しむもの

【タテのカギ】

Q 二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ニコリ

パズル？ 頭の体操

- 1 最低気温が25度以上の夜のこと
- 2 寺子屋では字の——やそろばんを教えました
- 3 地球の中心部にあります
- 4 長良川で有名な伝統漁法
- 6 親戚の——を頼って仕事に就いた
- 9 高速道路のサービス——で一休みした
- 11 親潮は千島——とも呼ばれます
- 13 帰る客を玄関まで——に行った
- 15 力士が腰に締めます
- 17 割、分、厘の次
- 19 虫が入ってこないように布団の周りにつるします

【ヨコのカギ】

1	5	8		14		21
		B			15	18
2			12			19
		9		A	16	
3	7		13			20
4			10		17	
			11			D

答えは広報「林檎の森8月号」にて掲載いたします。

6月号の答え A:サ B:ン C:ダ D:ル

表紙物語

今月号の表紙は、7月1日に相馬保育所の年長組の園児らが野菜の定植を手伝ってもらった御礼にJAを訪れた際の「コマである。

訪れた園児ら13名は、本所に到着すると似顔絵と「大きく育っています」「ありがとうございました」と書かれた画用紙を取り出し、出向いた大場勉組合長と三上隆基専務に手渡した。手渡す際には園児ら全員で大きな声で「ありがとうございました」と伝えた。

受け取った大場組合長は「野菜は大きくなってきましたか？ 収穫がとも楽しみですね」と問いかけていた。

最後に金融共済課からJA共済の交通安全キャラバンのバックがプレゼントされ、大場組合長が「帰るときにも気を付けて下さい」と手渡した。

今後このような地域一体の取り組みが増え、地域の活性化に繋がるよう邁進したいと思います。



絵のことで園児らと話す三上専務ら



大きな声で「ありがとうございました」



園児らが手紙を渡すときの動画です
(wi-fi環境下での視聴をお勧めします)



プレゼントのバックを喜んで受けとる園児

JA相馬村広報

林檎の森

りんごのもり

2021.7 Vol.468

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年7月19日

JA 相馬村概況

〈令和3年6月末日現在〉

組合員数	864人
(うち准組合員数)	373人
出資金	620,940千円
貯金額	9,903,833千円
共済保有高	3,221,166万円